

Field report:石砂山登山口「山篠の里」

投稿日:平成29年5月29日

臼杵 浩志(5回生)

関東で唯一ギフチョウの棲息する石砂山の山麓「山篠の里」に、5月19日と22日の両日、蝶の偵察に行ってきた。国道412号線を青山から413号線に入り、牧馬入口より「山篠の里」に向かう。峠手前に水場



のある小屋付近の荒地に蝶や蜂が沢山飛んでいた。黄色がかった敏捷に飛ぶ

蝶は全てウスバシロチョウで、大空高く舞い上がったり、ヒメジョオン
の花や開花真最中のアカシアの花に止まったりと、忙しく飛び回って
いた。アカシアの花には、オナガアゲハやダイミョウセセリが吸蜜し、
足元のチョウジソウ(?)の花にはツマキチョウも止まり、まさに蝶の
天国のようであった。遠くに黄色いアゲハが飛んでいるのが見えたが、
正体は確認できなかった。牧馬峠を越えた先の山篠の里バス停付近

にも、ウスバシロチョウが数多く飛翔し、キタテハやクモガタヒョウモン
も確認できた。面白かったのはコムスジ。何を血迷ったか、車のタイヤ
やボディに止まったり、拳銃の果ては、私の手に止まってしまった。初
めての石砂山、山麓でもギフチョウが観察されるはずだが、今回は車

でのアプローチにて心がけが悪かったの
か、ギフチョウには出会えず終いであっ
た。近いうちに、山頂まで登り、この山の
蝶の棲息状況を確認しないとイケない



な、などと思いながら、帰途についた(写真は、左上からウスバシロチョウ、ツマキチョウ、クモガタヒョウモン、右上はダイミョウセセリ、右下はコムスジ)。🐸